

2017年1月教会便り 砂川～滝川

主任司祭 ナルチゾ神父



日本では新年の挨拶として、年賀状を書く習慣があります。年賀状にはとても良い面があって、年に1回知り合いと挨拶を交わす機会でありつきあいを深めるものだと思います。年賀状の内容は大体決っています。「昨年はいろいろお世話になりました」「今年もよろしく」「良い年でありますように」「今年中、主があなたを祝福し、あなたを守られるように」「主が御顔を向けて、あなたを照らし、あなたに恵みをあたえられますように」「主が御顔を向けて、あなたに平安を賜るように」元旦に教会へ行って、このような祝福を受けてもらえれば、私はとてもうれしいです。神が太陽のように、私達を照らしてくれる事を願うのですが、太陽は私達地球人にとって、生きるために必要なものです。太陽のおかげで、食物は芽を出し、花を咲かせ、実を結んでくれます。太陽がなければ、この地上で生活できないのです。家庭では、お母さんの顔が太陽にたとえられています。子供は母の顔を見て、安心して穏やかに育っていきます。私達も、いつも主が御顔を向けてくれるならば、どんな試練でも乗り越えることができるに違いありません。また、現代社会の不安の中で心の平和を保つことができるに違いありません。人生には、どんな人にも自分に背負えないような試練に出会うことがあります。堪えられない苦しみを味わうこともあります。その時、この祝福に書かれた通り、神の恵みが与えられるならばどんな試練をも乗り越え、どんな苦しみも堪え忍ぶことができるでしょう。2017年に入って、どんな楽しいこと、またどんな素晴らしい人に出会えるでしょうか。どんな試練を堪え忍ばなければ ならないのでしょうか。どんな場合にしても主が私達を守ってくれるなら、いつも穏やかで、平和で柔和な心で人と接することができるに違いありません。



1月の主な典礼・ミサ時刻

日	曜	典礼暦	砂川	滝川
1	日	世界平和の日 元旦 P9 新年を祝う P4 平和を願う 当教会出身聖職者・修道者のために祈る日	10:00ミサ 先読:多田 第1:多田 第2:久保田 典礼聖歌:三上夫妻	14:00
8	日	主の公現 司祭と召出を求めのために祈る日 P10 ご公現の祈り	10:00ミサ 先読:高塚 第1:高塚 第2:安藤 典礼聖歌:多田/千田	14:00
15	日	年間第2主日 病者と洗礼志願者のために祈る日	10:00ミサ 先読:多田 第1:多田 第2:千田裕 典礼聖歌:高塚/千田裕	14:00
22	日	年間第3主日 教会から離れた信者のために祈る日	9:00ミサ 先読:高塚 第1:高塚 第2:三上 典礼聖歌:高塚/千田裕	14:00
29	日	年間第4主日 死者のために祈る日	10:00ミサ 先読:多田 第1:多田 第2:千田裕 典礼聖歌:高塚/千田裕	14:00

◆平日のミサ ○砂川教会:月曜日～金曜日17:00 土曜日10:00 ○滝川教会:未定

今月の霊名記念日の方…おめでとうございます(敬称略)

17日 聖アントニオ修院長 多田博樹 13日 聖ヒラリオ司教教会博士 ヒラリオ・シュミット神父
21日 聖マリアアグネスおとめ殉教者 武内恵美子
21日 エメレンキアナ 佐藤昭子 シスター
27日 マリア・アンジェラ 菊地若子 27日 聖アンジェラ・メリチおとめ 上野聖加

◇砂川教会 お知らせ

- ・ 8日(日) クリスマス飾り 片付け
- ・ 15日(日) 新年会
- ・ 20日は初代主任司祭ヤヌワリオ・メンラド神父様の18回忌です。
- ・ 毎週水曜日 10:00～ 聖書に親しむ会を実施しています。
- ・ ロザリオ会は冬季(11月～2月は夜間の交通安全を考慮し お休みにします)

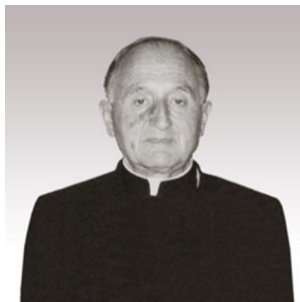
花当番	
7日(土)	室井
21日(土)	多田(明)

◇滝川教会 お知らせ

- ・ ロザリオ会は冬季(11月～3月は夜間の交通安全を考慮し お休みにします)
- ・ 毎週木曜日 13時30分～ 聖書に親しむ会を実施しています。
- ・ 毎週木曜日 10時～17時まで ナルチゾ神父が滝川教会に在室しています。

◇その他

- ・ 1日(日)世界平和の日
- ・ 29日(日)カトリック児童福祉の日(献金)



ヤヌワリオ・アロイス・メンラド師は、1935年ドイツのフルダ修道院(フランシスコ修道院)にて司祭となり、札幌光星商業学校(現:光星中・高等学校)の英語教師となるため、イギリスのオックスフォード大学に行って、哲学博士号を受けました。そして1939年12月に来道され、1940年から4年間光星学校の校長を勤められました。その後、岩見沢教会に赴任してから夕張と砂川に教会と幼稚園を、砂川教会に赴任してからは、美唄と富良野に教会と幼稚園を設立されました。また札幌天使幼稚園設立にも貢献されました。

1949年には東洋高圧砂川事業所(民間)から幼稚園の運営を任され、廃止になるまでの40年間、園長を兼任されました。

1984年には、長年の幼児教育者として、政府から勲章が授与されました。

1953年からは札幌北11条教会、枝幸教会、名寄教会、士別教会と付属幼稚園を任され、1993年士別教会を最後に退任なされました。その後、旭川の修道院での療養生活に入られ、1999年1月、89歳で帰天されました。

ヤヌワリオ師と約4年間(中学三年生～高校生)共に生活されたという当園7代目園長の続橋師は当時のことを振り返り「師はドイツの農家の長男として生まれ、とにかく働き者だった。砂川教会でも、国の子寮のために干しぶどうや粉石鹸を売って協力していた。もらった物はすぐ誰かにあげてしまう、そういう人であった」と話しておられました。